

情報工学実践セミナー  
(I~IV認定対象)

リボソームプロファイリングによるがん細胞  
の翻訳制御メカニズムの解明

浅野 桂

カンザス州立大学生物学科教授

網羅的解析技術の進歩により、真核生物が様々な刺激に応答して mRNA の翻訳パターンを調節していることが明らかになってきた。網羅的な遺伝子発現解析（リボソームプロファイリング）によりがん細胞やモデル真核細胞（酵母・幹細胞など）における翻訳制御の機序を解明する。

日時：1月13日（水）4時間目（14：40-16：10）

場所：飯塚キャンパス 大学院セミナー室 N712（Zoom 利用）

申込：1月10日まで。Zoom のアクセス先をお知らせしますので。

<https://qr.paps.jp/jtvZT>



問い合わせ先：倉田博之